

創立 50 周年記念誌

綱 風

祝創立50周年茨城県立八千代高等学校



茨城県立八千代高等学校

目 次

学校概要	2
挨拶	4
祝 辞	6
沿 革	10
学び舎	11
スクールライフ	14
部活動	16
教育課程	18
進路実績	20
資格取得	21
探究的な学び	22
50年のあゆみ	23
TOPICS	46
資料編	47
歴代校長	48
同窓会役員	50
歴代PTA役員	50
歴代生徒会役員	52
緑風祭ポスター	53
現PTA役員	53
部活動実績	54
旧職員	56
現職員	58
実行委員会組織	59
50周年記念事業概要	59
編集後記	60

創立
50
周年記念誌

綱
風





茨城県立八千代高等学校

〒300-3561 茨城県結城郡八千代町平塚4824番地2
TEL0296-48-1836 FAX0296-48-3201



校章

本校の所在する八千代町平塚は、かつて旧下総の国の北部に含まれていました。この北総(下総の北)の野には、太古、「檜(ひのき)」の原生林が広がっており、現在も本校の周辺には、数多く檜が天高くそびえ立っています。

この「ひのき」は、夏の酷暑にも、冬の厳寒にもめげず、常に緑を保ち、すくすくと、まっすぐに伸びて、堅い実を結びます。昔から良質の建築材として活用されてきました。

北総の野に学ぶ本校生徒が「ひのき」のように、強くまっすぐに成長することを願い、校章に模しました。

図柄は、中央に「ひのき」の実を配し、葉は「北」の字をかたどったものです。

校歌

作詞 野中 稔

作曲 吉羽 隆

一

緑の風に育まれ

伸びゆく檜 空高く

若人ここに相集い

大地を蹴って 嚙する

自立の精神高らかに

われら八千代 八千代高校

二

沃野はるかに広がりて

鬼怒の流れに 伝え聞く

生成の音絶えまなく

築かれゆかん伝統を

ともに受け継ぎ励みあう

われら八千代 八千代高校

三

寒風ときに吹きあれて

はるけき空を覆うとも

変わらぬ姿筑波山

理想は高くゆるぎなし

新たな時代創りゆく

われら八千代 八千代高校

校訓

自立：自分の力で判断し物事を行うこと。

協和：心を合わせて仲良くすること。

創造：新しいものをつくり出すこと。



校旗



創立50周年にあたり

八千代高等学校北総同窓会会長
第3期卒業 染野 修



平素より皆様におかれましては、北総同窓会の趣旨をご理解、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

昭和51年に前身であります「茨城県立北総高等学校」が開校され、平成6年に「茨城県立八千代高等学校」と改名されました。今年で創立50年の節目の年を迎える事となりました。これも、ひとえに学校関係者並びに同窓生のご協力の賜物と深く感謝致します。

私達、3回生が入学した当時は、まだまだ手探りで作り上げていく萌芽段階でしたが、しかし、今では歴史を重ねながらしっかり根を下ろし、真善美を学び最良の舞台として生徒を迎え、送り出している事に嬉しさと誇りを感じます。

今日に至るまで校訓である「自立 協和 創造」知育、徳育、体育のバランスの取れた教育を重視し、社会に貢献出来る人材の育成を目指し、初代校長の原田良彦先生から現校長の石塚幸光先生まで、この教育方針が脈々と受け継がれ、現在も八千代高校の教育の柱として現役の生徒達に教えられています。

平成6年に普通科から総合選択制、そして現在の総合学科制に変わり、生徒の個性、進路希望に応じ2年次より将来の目標に向かって生徒も日々努力しているでしょう。

現在、卒業生10,062名を数え、多方面で活躍されています。これも、ひとえに創立当初より献身的に教育に対し情熱を注ぎ、生徒の指導に当ってこられた教職員の方々の並々ならぬ努力の賜物であると深く敬意を表します。

これからも、我々八千代高校北総同窓会は、母校の更なる発展に寄与し、会員一同一丸になって応援していく所存であります。

最後に、この輝かしい歴史を誇る八千代高等学校が、今後益々隆盛なる前途を開拓し、たくましい若者が育ちゆく場で有り続けることを心から祈念しお祝いの言葉と致します。

創立50周年を迎えて

PTA会長
岩田 由加



八千代高等学校が創立50周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

この記念すべき節目にあたり、長きにわたり地域の皆さま、保護者の皆さま、教職員の皆さまのご支援とご協力のおかげで、今日まで学校が歩み続けることができましたことに深く感謝申し上げます。

本校は、昭和51年に茨城県立北総高等学校と開校され、その後、平成6年に校名を茨城県立八千代高等学校へと改称し、平成10年には本県初の「総合学科」を導入し、新たな歴史の一ページを刻んできました。

これまでの50年間、八千代高等学校は地域の皆さまや保護者の皆さま、教職員の皆さまの温かいご支援とご協力のもと、多くの生徒たちが夢や目標に向かって努力し、さまざまな分野で活躍し成長してきました。

私たちは、これからも『個性をみがき、夢をかたちに』というスローガンのもと、一人ひとりの可能性を引き出し、未来を切り拓く力を育てていくことを願っております。地域と連携したさまざまな活動や、次世代を担う子どもたちのための教育環境の充実に努め、皆さまのご理解とご協力を得ながら、八千代高等学校は今後も地域の誇りとなる学校を目指し、歩み続けてまいります。

この50年の歩みを振り返るとともに、未来への希望と夢をつなぐ大切な記録となることを願っております。

これからも、学校と家庭、地域が一体となり、子どもたちの健やかな成長を支えるために、協力と連携をさらに深めてまいりたいと考えております。

皆さまの温かいご支援とご協力で心から感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、創立50周年記念事業にご尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げますとともに、八千代高等学校のますますの繁栄と、PTA会員の皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

創立50周年を迎えて

校長
石塚 幸光



本校は昭和51年、茨城県立北総高等学校として開校いたしました。旧下総の北部「北総」に由来する校名でしたが、平成6年にはより地域に親しまれる学校を目指し、八千代町の名を冠して現在の校名となりました。さらに平成10年には、県内で初めての「総合学科」へ改編し、新たな教育の歩みを始めました。

この50年間に巣立った卒業生は一万人近くのにほり、県内外の各分野で活躍されています。卒業生の皆様のご努力に敬意を表しますとともに、これまで本校を支えてくださった保護者・地域の皆様、歴代の教職員、同窓会の皆様に心より感謝申し上げます。

本校は、今年度、創立50周年という大きな節目を迎えました。さらに2年後には「総合学科」導入から30年という新たな節目も控えています。「北総高」時代から脈々と受け継がれる校訓「自立・協和・創造」と、学科改編以降掲げてきたスローガン「個性をみがき、夢をかたちに」のもと、生徒一人ひとりが持つ個性と可能性を大切にしながら、教育活動の充実に努めてまいりました。

各系列においては、総合学科の特長を活かした多様な学びを展開し、生徒の進路希望に応じた柔軟な指導を行っております。その結果、進路実績にも着実な成果が表れており、多くの生徒が自らの夢に向かって力強く歩んでいます。

部活動においても、運動部・文化部ともに意欲的に活動が続けており、全国大会や関東大会への出場、県大会での好成績など、多くの成果を上げるとともに、心身の成長を遂げております。

さらに、地域とのつながりを深める活動として、「八千代町の課題をテーマにした探究活動」にも積極的に取り組んでおります。これは、八千代町との協働による地域探究であり、生徒たちが地域に目を向け、自らの進路選択や将来像を描くうえでも貴重な学びとなっています。

これらの教育活動の基盤として、本校では生徒に必要な力を「5C＝5つのChikara」として定義し、日々の学習や行事、探究活動を通して育成しています。生徒が自らの手で未来を切り拓き、変化の激しい社会でも柔軟に対応できる力を備えるよう、今後も教職員一同尽力してまいります。

最後に、創立50周年記念式典の企画・実施や記念誌の作成にあたり、多大なるご支援・ご協力を賜りました関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。今後とも、地域に根ざし、地域とともに歩む本校の教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、挨拶いたします。



回 顧

第11代校長
竹井 茂雄



創立50周年を心からお喜び申し上げ、謹んでお祝いを申し上げる次第でございます。平成16年度からの3年間という短い期間ではありましたが、お蔭さまで、とっても楽しく充実した日々を過ごさせていただきました。昨日のことのように、17年の「創立30周年」をも思い出しております。私語の無い、水を打ったような集会に、先ず驚きました。生徒の誰もが、物音一つしない儀式を当然のことと受け止め、先生方は全幅の信頼を寄せていらっしゃって。「経験したことの無い、無上の、素晴らしい学校だ。」と嬉しくなりました。汗にまみれ乍らも、運動部員はそれぞれのユニホーム姿で、リーダーの一員として懸命に応援してくれる、夏の全国高校野球県大会での全校応援でも、感動的なシーンが多く、その度に目頭が熱くなりました。朝日新聞社から「2005年茨城の夏一応援大賞」を頂けた時の、筆舌に尽くし難い歓びは、現在でも鮮明に覚えております。が、他の追従を許さない、八千代高校ならではの応援スタイルこそが、寧ろ、「大賞」に最もふさわしい、と今でも私は思っております。「緑風祭」も、地域の方々からのご支援・ご協力をも頂いて、大いに盛り上がり、多くの皆様に楽しんでいただきました。「産社」講演会も医師・看護師による授業も、「自動車工業系列」の、車検の出来る“整備工場”棟での実習も、普通科で現代文と古典しか担当してこなかった私には、全てが新鮮で、「眼から鱗」でした。平成3年7月には、「現状打破と再生」をスローガンに「魅力ある学校づくり」に着手され、6年度には、普通科に、特色に溢れた、先進的な「総合選択制」を導入された上で、「北総」から「八千代」へと校名をも改称され、10年度には、「総合学科」へと改編されました。この、先輩諸氏の一大英断が、今日の確固たる地位を築き上げ、現在の隆盛をもたらしてくださっているのですから、ただただ敬服し、深謝申し上げるばかりでございます。徒に日を送り馬齢を重ねただけの3年間であったことを慚愧の念で振り返っておりますが、八千代高校のますますのご発展と同窓の皆様のご隆昌とを衷心からご祈念申し上げまして、言葉整わず意を尽くし得ないもどかしさを禁じ得ませんが、「回顧」とさせていただきます。この度も、種々ご高配を賜わり、誠にありがとうございました。

八千代高での「一期一会」

第13代校長
石川 弘



詠題=『切る』

「髪切った私の変化に気がついてよ
こんなに君を思っているのに」

詠題=『窓』

「のんびりと窓辺にたたずむ影ふたつ
寄り添うようにひとつになる」

この二首は「平成23年度関東地区高校生文芸大会短歌部門」に、県代表として出場した文芸部員の作品です。生徒が日々感じる繊細な心の動きが表現されています。学校生活の中で生徒達が共有した時間や思い出は、一つひとつがかけがえのない出会いであり、その瞬間が心に刻まれる宝物となります。

茨城県立八千代高等学校創立50周年を心よりお祝い申し上げます。この節目を迎えられたのも、生徒、教職員をはじめ、保護者や地域、そして同窓会の皆様の努力と支えによるものです。校長在任の2年間(平成22・23年度)に、本校の「元気な挨拶」「私語のない集会」「入学式や卒業式での厳かな校旗の入退場」、運動部員がリーダーとなる「野球応援」「就職内定率100%」など、他校に誇れる数々の伝統に触れ、深く感銘を受けました。特に「正座・黙想・やめ・礼」から始まる集会では、生徒達の真剣な眼差しに身が引き締まりました。こうした伝統の中で教職員の皆さんに支えられ、人生訓である「一期一会」の精神を根底に日々勤務できたことは、忘れがたい2年間となりました。

微力ながら、スクールバスの運行開始や教室へのエアコン設置など、教育環境整備を進めました。また、「部活の八千代大作戦」と銘打った「部活動振興基本計画」の策定や「探求部(勉強部)」の創設によって、部活動の活性化と進学実績向上の基盤構築にも努めました。更には学校ホームページにて「八千代高『一期一会』校長室から」を93回発信し、学校の取り組みや生徒の活動を学内外に広く紹介しました。これらの取り組みが、生徒の可能性を広げる一助となったのであれば、嬉しく思います。茨城県立八千代高等学校の更なる発展をお祈り申し上げます。

健康の大切さについて

第14代校長
木城 孝夫



八千代高等学校が創立50周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

私は、定年退職までの最後の3年間で、校長として勤務させていただきました。現在、退職から10年が過ぎ、勤務当時の細かな記憶は薄くなりましたが、「八千代高校での3年間は、とても楽しかった」という感情は、鮮やかに残っています。生徒達は真面目に授業に取り組んでおり、部活動も大変盛んでした。放課後に、教室や体育館・校庭を回っていると、熱心に部活動に取り組んでいる生徒達の元気な声が、あちこちから聞こえてきました。学校内は、生徒達の若いエネルギーに満ち溢れており、自分自身の高校生の頃を懐かしく思い出すこともありました。

校長として集会で話をする機会が多くあり、どの時期にどのような内容の話をすべきか、いつも考えていました。私は現在70歳になり、最も関心のあることは「健康」のことです。勤務時も、やはり健康の大切さを感じておりましたので、私は生徒達に「大人になっても、たばこは絶対に吸わないでほしい」と、幾度となく集会で話をしました。喫煙をすることは、自分自身の健康をおろそかにすることであり、様々な病気の誘因にもなります。また、経済的な負担、受動喫煙の害、失火のリスク、幼い子供にとっては吸い殻の誤飲など、様々なマイナス面を話しました。70歳となった私が今思うことは、若い頃から自分の体を大切に、健康に意識を向けた生活を送ることが、その後の長い人生をより良いものにしてくれる、ということです。生徒達が、私の「たばこの話」を覚えていてくれて、卒業後も健康の大切さに目を向け、自分の健康に留意した生活を送ってくれているなら、私としては、こんな嬉しいことはありません。

八千代高等学校が、今後とも生徒達の成長に寄り添い、進路決定や自己実現に寄与する学び舎であり続けることを祈念いたしております。

すばらしき生徒達が集う 学び舎

第15代校長
田沼 祐子



茨城県立八千代高等学校創立50周年誠にとおめでとうございます。重ねて記念誌の編纂に取り組まれた皆様、実行委員の方々にお礼申し上げます。

私が八千代高校に赴任したのは平成27・28年の2年間でした。今でも資格取得や部活動などに一生懸命に取り組む生徒達、明るく爽やかな声が響く学校が思い出されます。その中でも強く印象に残っている出来事があります。赴任1年目の平成27年9月「関東・東北豪雨」により、鬼怒川の堤防が決壊するという大災害が起きました。八千代高校は被害を免れましたが、わが校の生徒を含め多くの家庭が甚大な被害を受け、翌日から水を含んだ布団・家具・畳や、汚泥の処理等の作業に追われました。復興作業は高齢者や女性にはかなりきつい重労働です。そんな時、わが校の生徒達がボランティアの一員として、常総市に駆け付け復興の手伝いをしました。当時、生徒の活動に被災された方から心温まる葉書を頂きましたので記念誌に残しておきます。

『前略ごめん下さい。本日、若い皆さんがボランティア活動を自ら進んで引き受けてくださったことありがたく感謝で一杯です。汚いヘドロや不要物をまとめ、気持ちよく大汗をかきながら笑顔で一生懸命に活動される姿を拝見し老夫婦は只々感激でした、お疲れ様でした。遊びたい盛りの皆さんのお申し出ありがとうございます。私どもはもう力仕事はできませんが、何かの折に困っている方、大変な思いをされている方に力を貸すことは出来るとあなた達から学びました。あなた達のようなさわやかな若者が平和な日本の主権者としていかれることに希望が湧いてきました。本当にありがとうございました。』

大変な時に、このようなお言葉を頂き、わが校の生徒達をととても誇らしく思った出来事でした。困ったときに助けあえる気持ちを育んだ最高な生徒達が集うこの八千代高等学校が、これからも末永く発展されることを祈念いたしております。

「深化・進化」する 八千代高校

第16代校長
柴崎 規美子



八千代高校創立五十周年を迎えられ、誠に
おめでとうございます。

平成29年度から2年間勤務させていただき、
教員として初めて総合学科の運営に携わらせてい
ただきました。総合学科は、1年次で自分の興味
関心や特性を見つめ、2年次からの系列を選べ
ることが大変大きな魅力だと思います。また、少
人数クラスで授業が実施できることも他の学科に
比べ大変恵まれていると感じました。

各系列の専門性の高さにも驚きました。自動車・
電機系列では、自動車を使った実習や玉掛けの
資格取得もしており、商業実務系列では総合実
践の授業で実際の株式会社さながらの経営手順
を学んでいました。福祉・家庭系列では食物や
被服の高度な実習や、介護用品を用いての演習
や施設での実習を行っていました。文理総合系
列・基礎教養系列では、基本をさらに発展させ
た学習を行い、国立大学への進学にチャレンジ
する生徒もいました。就職でも地方銀行やたくさ
んの地元企業様から採用していただきました。

当時、学校はさらに高い目標に向かうため次の
3つを努力目標としました。「チャイム前着席」「すす
んで挨拶・正しい言葉遣い・きちんとした身だし
なみ」「自ら課題に取り組む」です。他と協働しなが
ら、人工知能やITが台頭する中にあっても、主
体性や創造性を持って、自ら新しいチャンスをつ
かんでほしいという思いからです。

生徒の皆さんはとても素直で礼儀正しく、朝の
昇降口での「おはよう」の声かけに、立ち止まって
丁寧に挨拶を返してくれたり、廊下や階段で「こん
にちは」と元気な声をかけてもらえたり、学校にい
るのがとても楽しい2年間でした。

離任後も八千代高校の活躍や地元からの信頼
の声が聞こえてくるたび、先生方や生徒の皆さん
の「5C=5つのChikara」を実感しています。

これからも八千代高校は「深化・進化」する学
校であり続けることでしょう。益々の御発展をお祈
り申し上げます。

こころのふるさと

第17代校長
高原 康之



「あんた、何気にくわない顔してんのよ。あんたよりね…私の方が気に
食わないわよ!」職員室のあちこちで指導が始まった。登校途中にバイク
が見つかってふてくされた生徒とT先生がやり合っている。新採教諭とし
てのスタートは毎日が衝撃的だった。朝はまだ暗い時間に家を出て7時
から朝練。校門を突破してきた単車を取り囲んだり、学校を周回する右
翼の大群を眺めているうちに放課後の部活動。悠に20時を超えてから部
員たちにアルファベットの「m」と「l」と「n」の違いを真剣に特別授業。家
はただ寝るだけのために帰っていた。それはそれは、本当に大変だった。
けれど、すごくすごく楽しかった。「ダメなものはダメ」と生徒たちを本気で
叱り、生徒たちのことを本気で嘆き、生徒たちと一緒に喜び、感
激を分かちあう。これまでに怒られたか、怒られることもなく見放された
経験しかない生徒たちを相手に、時間を忘れて夢中になって向き合うこ
とで、教員としてだけでなく人としての生き方を学んだ。何が大切で、ど
う行動すべきか、その基準は北総高校にあった。精神科医の夏莉郁子
さんは「人は人を浴びて人になる」と言うが、生徒も教員にとっても北総
高校はまさにそういう学校だった。

2019年4月、八千代高校の校長として帰ってきた。入学式、緊張して
あたふたしていた私に、最前列の保護者ママたちが手を振ってくる。「た
かピー!」気楽すぎる声かけだ!厳粛な入学式はずなのに…。周囲の
先生方も笑っている。北総時代の教え子たちが元気な保護者となって
帰ってきていた。校歌斉唱、彼女たちも私もあの頃覚えた校歌を声高
らかに歌った。北総高校が八千代高校になった時、当時の関口衛校
長先生は、校名は変更になっても北総高校の卒業生たちが何歳になっ
ても歌えるよう、八千代高校の校歌は変更せず、最後の「北総」の部分
を「八千代」に替えるだけにしてくれたという。彼女たちは口々に「ヤチ高
(八千代高)、すごく良い学校になったよね。」「北総は大変だったもん
ね。先生たちにはたくさん怒られたよね。」「あの頃は監獄みたいだと思っ
てたけど、卒業してから身にしみてありがたいと思ったよ。」と話してく
れた。当時の先生方の本気は、卒業してからの彼女たちの人生に大きな影
響を与えていて、自分の子どもを母校に入学させたいと強く思ってくれて
いたようだ。

八千代高校での2年間の校長としての勤務は、コロナ渦の影響をま
とに受けたが、ありがたいことに驚きと感激の連続だった。県内初の総
合学科として、地元から信頼され人気のある学校になっていたのはもち
ろん、何より生徒たちの成長を願う一生懸命な先生方がそこにいた。入
学式直後の中学生のような生徒たちが、確実に成長していく姿を見ると
「生徒の成長率No. 1」のキャッチコピーにふさわしい学校であることは
間違いない。「ひとりの子どもを育てるのには、村中の大人たちの知恵と
力が必要」とはアフリカの諺だが、保護者や地域の人たちの温かいまな
ざしと教員が生徒たちと本気で向き合うという学校風土が、ここにはあ
る。教育はよく「不易と流行」と言われる。今「流行」ばかりがクローズア
ップされているが、今も昔も変わらない教員の魅力が詰まった学校、預か
った生徒たちの人生や勤務した先生方の心を支え続けている学校。「こ
ころのふるさと」、それが八千代高校である。創立50周年、おめでとうご
ざいます。

地域とともに

第18代校長
根本 雄一



令和3年度は、コロナ禍2年目で、秋に臨時休校措置が取られるなど教育活動が大きく制限される年であった。そのような中、生徒たちが少しでも充実した高校生活を送ることができるようにと知恵を絞って対応に当たったことが懐かし思い出される。同年10月、学校前に路線バスの停留所が新設されるという嬉しいニュースもあった。翌令和4年度もコロナ感染拡大の心配は常につきまとったものの、文化祭一般公開を再開するなど、制限を徐々に緩和することに努めた。

在職2年間には、次の2つのことに力を入れた。

1つ目は、八千代高校のブランディングである。本県初の総合学科高校としての四半世紀に及ぶ伝統と実績、普通教科とともに専門教科が学べる教育課程(「ハイブリット型ハイスクール」と命名)、5系列に分かれた生徒たちが熱心に学び合う様子等にスポットライトを当て、各種メディアで積極的に情報発信することや学校HPを充実させることを心かけた。その結果、校長室前の掲示板や校長室内の壁は、ラミネートされた掲載記事で埋め尽くされた。また、「Y高メッセンジャー」という組織を立ち上げ、生徒たちに本校と出身中学校との懸け橋役を担ってもらい、初年度は茨城新聞の取材も受けた。

2つ目は、地域との連携の強化である。本校は人口2万1千の小さな町に唯一存立する高校で、創立以来、町の人々には「おらが町の高校」として愛着を持っていた。赴任直後に町役場を訪問、役場幹部と面会し、そうした恵まれた環境にあることを実感した。そこで、「地域は学びのフィールド」を掲げ、地域そのものが教材であり、教室であること、地域の人々が指導者であること、などを前面に打ち出した教育活動を展開することを意識した。地域課題をテーマに探究学習に取り組み、最後に町長らから助言をいただける教育活動がこれからも続くことを願う。

八千代高校の益々の発展を祈念し結びとする。

地域を愛し、地域から愛される 八千代高校

第19代校長
榊原 洋子



八千代高等学校が創立50周年を迎えられますこと、誠におめでとうございます。私は、教諭として平成17年から6年間、校長として令和5年から2年間在職しました。八千代高校の歴史に微力ながら携わることができたことを、光栄に思います。

新採教諭として本校に着任し、生徒の素直さや学校に気持ちが向いている様子に感心したことを覚えています。実験を主とした授業展開を目指し、準備と片付けに明け暮れた日々を過ごしました。生徒との関わりも濃密で、まっすぐに生徒と向き合うさわやかな日々でもありました。職員室の雰囲気も活気があり、このような環境で勤務できましたこと、本当に幸せであったと感謝しています。

校長として再び八千代高校に奉職し、昔と変わらぬ本校の様子に安心しました。私は、「生徒の良さを引き出し、未来に希望を持たせる」という学校経営理念を持っており、これは本校のスローガン「個性をみがき、夢をかたちに」と完全に合致するものでした。「生徒の良さを引き出す＝個性をみがく」ためには多方面からのアプローチが必要です。八千代町役場の方々、地元企業の方々、同窓会やPTAに相談することで、人的にも物的にも多大なるご支援をいただき、地域と協働した教育活動を推進し、たくさん新規事業を展開することができました。特に、産業社会と人間の講師をお引き受けいただいたり、資格取得した生徒に対して八千代町から補助金がいただけたりようになったことは、本校生徒の学習意欲の向上に直結するありがたいものでした。

本校の50年の歴史を見たとき、郷土を愛し地域社会に貢献できる人材の育成が教育の軸であると考えます。八千代町唯一の高等学校として、地域を愛し、地域から愛される八千代高校の姿こそが、校名は変わっても開校以来変わらない本校の伝統です。今後、益々のご発展を祈念しご挨拶いたします。

茨城県立八千代高等学校の

沿革



北総高校学校要覧(昭和52年度)



開校式(昭和52年10月21日)

昭和50年 (1975)	10月 6日	茨城県立北総高等学校設置決定
昭和51年 (1976)	4月 1日	茨城県立北総高等学校 開校
昭和52年 (1977)	2月10日	本館完成
	2月15日	格技場完成
	4月18日	校訓制定、創立記念日とする
	7月28日	特別教室棟完成
	8月18日	体育館完成
	10月21日	開校式挙行、校旗樹立、校歌制定
昭和53年 (1978)	3月15日	グラウンド整備工事完成
昭和55年 (1980)	6月24日	弓道場完成
昭和57年 (1982)	5月11日	プール完成
昭和60年 (1985)	11月 1日	創立10周年記念式典挙行
昭和63年 (1988)	4月 1日	新制服の制定
平成 6年 (1994)	4月 1日	校名を茨城県立八千代高等学校に改称 総合選択制の導入
平成 7年 (1995)	2月10日	実習棟完成
	10月13日	創立20周年記念式典挙行
平成10年 (1998)	4月 1日	「総合学科」に学科改編
平成11年 (1999)	3月15日	総合学科棟竣工
平成17年 (2005)	11月12日	創立30周年記念式典挙行
平成22年 (2010)	9月 1日	スクールバス運行開始
平成26年 (2014)	4月 1日	系列改編
令和 7年 (2025)	11月15日	創立50周年記念式典挙行



北総高校校舎全景(昭和55年)



10周年記念誌(昭和60年)



茨城新聞より(平成5年)



学校要覧(平成6年)



20周年記念誌
(平成7年)



30周年記念誌(平成17年)

学び舎



昇降口



明日を拓く像



教室



大講義室



パソコン室



書道室



音楽室



美術室



視聴覚室



生物室



調理室



物理室



実習室2



被服室



自動車整備実習室

学び舎



実習室1



図書室



総合実践室



総合学科棟



卓球場



体育館



格技場



ボクシング部
練習場



野球場



テニスコート



陸上・テニスコート



渡り廊下



自転車置き場



サッカーコート



中庭



部室棟

スクール ライフ

年間行事予定



6月●スポーツフェスティバル



7月●野球応援



7月●フォークリフト講習

4月

入学式

対面式

1 年次オリエンテーション

体験入部

二者面談

生徒総会

5月

1 学期中間考査

進路ガイダンス

●ガス溶接講習

6月

スポーツフェスティバル

卒業生を囲む進路懇談会

上級学校・職場見学会

1 学期期末考査

●全商ビジネス計算・文書実務検定

●全商簿記実務検定

●ツインリンクもてぎ講習会

●家庭科技術検定

7月

野球応援

三者面談

夏季課外

●フォークリフト講習

●第二種電気工事士試験

●危険物取扱者試験

●保育実習

●介護実習

●家庭科技術検定

8月

オープンスクールデー

3 年次模擬面接

- ：商業実務系列
- ：自動車・電機系列
- ：福祉・家庭系列

9月

二者面談

系列体験授業(1年次)

2学期中間考査

全商英語検定試験

●全商情報処理検定

●玉掛け講習

10月

系列選択(1年次)

緑風祭

バイク通学者実技講習会

●玉掛け講習

●第二種電気工事士

11月

オープンスクールデー

文学散歩

持久走大会

2学期期末考査

●クレーン特別教育

●全商ビジネス計算・文書実務検定

●保育実習

12月

修学旅行(2年次)

年次行事(1年次)

生徒会役員選挙

全商英語検定試験

●第二種電気工事士

1月

学年末考査(3年次)

三者面談(1、2年次)

●全商情報処理検定

●全商簿記実務検定

●工業課題研究発表会

2月

学年末考査(1、2年次)

進路体験発表会

●上級学校見学(工業)

3月

卒業式

●アーク溶接講習会



10月 ● 緑風祭



11月 ● 持久走大会



11月 ● 保育実習

部活動

運動部



陸上競技部



柔道部



ボクシング部



野球部



ソフトテニス部



硬式テニス部



卓球部



バドミントン部



バレーボール部



サッカー部



バスケットボール部



弓道部

文化部



美術部



工業クラブ



ブラスバンド部



演劇部



書道部



家庭部



文芸部



写真部

選べる5つの系列

希望進路の実現

県内初の
総合学科としての
実績をさらなる
進化へ



文理総合系列



文系から理系にわたる多様な教科・科目を開講しています。英語・国語・数学の主要教科をはじめ、あらゆる分野での知識及び技能の活用を図り、思考力・判断力・表現力を養うことで、情報化・グローバル化などの著しい現代を生き抜く力を培います。

基礎教養系列



主要5教科を中心にバランスよく学習することにより、実社会で求められる基礎的・基本的な知識の確実な習得を目指します。卒業後、社会で即戦力として活躍できる人材を育成し、地域の企業等への就職をサポートします。また、生徒一人一人の興味・適性をじっくり見極めることにより、希望する職業分野に直結する上級学校への進学を支援します。

自動車・電機系列



「自動車整備士を目指すカリキュラム」と「ものづくりスペシャリストを目指すカリキュラム」から、1つを選択し学習することで、企業から期待される「エンジニアのたまご」を育成し、将来、実践的技術者として活躍するための教育を目指します。また、工業系大学への進学の実現も併せて目指します。

商業実務系列



簿記・情報処理・ビジネス文書作成・電卓 計算技術等、商業に関する専門知識や技術を習得し、将来、経済社会の一員として自主的・実践的に活躍できるようなエキスパート養成を目指します。さらに商業系大学への進学のフォローだけでなく、上級資格の取得を通じて専門性を高めていく教育を行います。

福祉・家庭系列



超高齢社会に対応できる知識と技術を持った介護職員を目指す福祉分野、衣食について幅広く学ぶ家庭分野のいずれかを選ぶことができます。福祉分野では、校内での授業や介護技術の実習だけでなく校外での福祉施設実習を通じて介護職員として必要な能力を養います。家庭分野では、消費生活やフードデザイン、被服製作、保育等の学習・実習を通じて、家庭生活に欠かせない知識と技術を深く学ぶことができます。

教科	科目	単位数または時数	総単位数	共通履修科目			総合選択科目		自由選択科目	
				1	2	3	2	3	2	3
国語	現代の国語	2	2							
	言語文化	2	2							
	論理国語	0,4,5				2,3	2			
	文学国語	0,4,5				2,3	2			
	古典探究	0,4				2	2			
	*国語常識	0,2					2			
	*現代の文章	0,2				2				
	*文章研究	0,2				2		2		
	*文章表現	0,1						1		
	*文章講読	0,1						1		
	*表現探究	0,2							2	
地理歴史	地理総合	2		2						
	地理探究	0,4								
	歴史総合	2		2	2			4		
	日本史探究	0,4								
	世界史探究	0,4								
公民	*社会時事	0,1					1			
	公共	2	2							
数学	政治・経済	0,2				2	2		2	
	数学I	4	4							
	数学II	0,4				2,4	2			
	数学III	0,4							4	
	数学A	0,2				2		2		
	数学B	0,2					2		2	
	数学C	0,2					2			
理科	*実用数学	0,2					2		2	
	科学と人間生活	2	2							
	物理基礎	0,2,3				2,3		2		
	物理	0,4					4		4	
	化学基礎	0,2,3				3		2		
	化学	0,4					4		4	
	生物基礎	0,2,3							4	
	生物	0,4								4
	地学基礎	0,2					2		2	
	*理科時事研究	0,2					2			
保健体育	*科学実験講座	0,1						1		
	体育	7	3	2	2					
芸術	保健	2	1	1						
	音楽I	0,2							2	2
	音楽II	0,2								
	美術I	0,2		2					2	2
	美術II	0,2								
	書道I	0,2								
	書道II	0,2							2	
	*音楽基礎実践	0,2							2	
	*生活と書	0,1						1		
	*実用の書	0,2						2	2	
外国語	英語コミュニケーションI	4	4							
	英語コミュニケーションII	0,4,6				3,4	3		4	
	論理・表現I	0,2				2	2			
	論理・表現II	0,2					2			
	*リスニング	0,1						1		
	*ライティング	0,2						2	2	
	*英語会話	0,2							2	
	*英文読解	0,4					4			
家庭情報	*英語探究	0,2					2			
	家庭基礎	2	2							
情報	情報I	2	2							

教科	科目	単位数または時数	総単位数	共通履修科目			総合選択科目		自由選択科目	
				1	2	3	2	3	2	3
工業	工業技術基礎	0,2					2			
	課題研究	0,3						3		
	実習	0,3,6						3	3	
	製図	0,2						2		
	機械設計	0,2						2		
	原動機	0,2					2			
	電子機械	0,2								2
	生産技術	0,2								2
	自動車工学	0,7					3	4		
	自動車整備	0,7							3	4
	電気回路	0,2					2			
	通信技術	0,2					2			
	*エンジン実習	0,3					3			
商業	ビジネス基礎	0,2					2			
	課題研究	0,2						2		
	総合実践	0,2						2		
	ビジネス・コミュニケーション	0,4					2	2		
	簿記	0,5					5			
	財務会計I	0,4						4		
	原価計算	0,4						4		
	情報処理	0,3						3		
	ソフトウェア活用	0,4						4		
	*OA実習	0,2					2		2	2
家庭福祉	*ビジネス実習	0,2								2
	課題研究	0,2						2		
	消費生活	0,2						2		
	保育基礎	0,4					2	2		
	ファッション造形基礎	0,6					2	4		
	服飾手芸	0,2					2			
	フードデザイン	0,2,6					2	4		
	食品衛生	0,4						4		
	社会福祉基礎	0,4					2	2		
	生活支援技術	0,6					3	3		
	介護過程	0,2						2		
	介護総合演習	0,2						2		
	介護実習	0,4					2	2		
	こころとからだの理解	0,4					2	2		
総合	福祉情報	0,2					1	1		
	*コミュニケーション技法	0,1								1
	*産業社会と人間	2	2							
	総合的な探究の時間	3	1	1	1					
	1年次	29	29							
	2年次	29		6,8				23,21		
	3年次	29			5,3			24,26		
	履修単位数合計	87		42				45		
	ホームルーム活動の週当たり配当時間	3	1	1	1					
	組数						5			
備考					授業の1単位時間		学期制			
					50分		3学期制			

- 備考1 歴史総合については2年次文理総合系列の文系、基礎教養系列、3年次文理総合系列の理系、自動車・電機系列、商業実務系列、福祉・家庭系列が対象。
- 備考2 日本史探究・世界史探究の選択については3年次文系、地理探究、日本史探究、世界史探究の選択については3年次基礎教養系列が対象。
- 備考3 フードデザインについては2年次福祉・家庭系列、3年次家庭系列が対象。
- 備考4 物理基礎、生物基礎(3単位)の選択については2年次文理総合系列が対象。
- 備考5 物理、生物(4単位)の選択については3年次理系が対象。

国公立大学

都留文科大学

私立大学

東京農業大学
国土館大学
流通経済大学
獨協大学
東京家政大学
駒沢大学
つくば国際大学
立正大学
帝京平成大学
日本工業大学
拓殖大学
日本大学
白鷗大学
医療創生大学
駿河台大学
大東文化大学
足利大学
開智国際大学
江戸川大学
聖徳大学
東海大学
跡見学園女子大学

短期大学

つくば国際短期大学
佐野日本大学短期大学
國學院栃木短期大学

専門学校

結城看護専門学校
関東職業能力開発大学校
宇都宮ビジネス電子専門学校
TBC小山看護専門学校
TBC学院
トヨタ東京自動車大学校
筑波学園看護専門学校
筑波研究学園専門学校
東京メディカル・スポーツ専門学校
きぬ看護専門学校
つくば自動車大学校
栃木シティ学園
筑波医療福祉専門学校
関東工業自動車大学校
東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校
晃陽看護栄養専門学校
太田情報商科専門学校
東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校
日本総合医療専門学校
つくば国際ペット専門学校
大宮ビューティー & プライダル専門学校
中央医療福祉専門学校
EIKA美容専門学校
大原簿記情報ビジネス医療専門学校
マロニエ医療福祉専門学校
大宮医療秘書専門学校
ミス・パリビューティ専門学校
大原簿記専門学校
文化服装学院
つくばビジネスカレッジ専門学校
大原医療秘書福祉専門学校
東京動物専門学校
大原法律公務員専門学校
東京服飾専門学校

就 職

茨城県信用組合
ギガフォトン株式会社
東武化学株式会社
イオンリテール株式会社
常陽銀行
霞ヶ浦用水土地改良区
宇賀神電機株式会社
株式会社ジョイフル本田
筑波銀行
鶴田電機株式会社
ファナック株式会社
株式会社フジシール
日本郵便株式会社
特別養護老人ホーム 玉樹
株式会社レゾナック
株式会社デンソーテン
結城信用金庫
日本無機株式会社
株式会社クボタ
丸宇木材市売株式会社
茨城むつみ農業協同組合
日野自動車株式会社
三菱マテリアル株式会社
株式会社UACJ鋳鍛
株式会社LIXIL
株式会社オカムラ
関東通運株式会社
アイジー工業株式会社
三桜工業株式会社
株式会社MGS
フジフーズ株式会社
有限会社オフィス・アイ
SMC株式会社
エヌ・アイ・シー株式会社
株式会社コバックス 城西病院
株式会社青木製作所
株式会社フジキン
岡部株式会社
大里商店
自衛隊

資格取得

共通

日本漢字能力検定3級
日本漢字能力検定準2級
日本漢字能力検定2級
日本語検定準4級
日本語検定4級
日本語検定準3級
日本語検定3級
日本語検定準2級
日本語検定2級
実用数学技能検定2級
実用数学技能検定(1次:計算技能検定)2級
実用数学技能検定(2次:数理技能検定)2級
実用数学技能検定準2級
実用数学技能検定
(1次:計算技能検定)準2級
実用数学技能検定
(2次:数理技能検定)準2級
実用数学技能検定3級
実用数学技能検定(1次:計算技能検定)3級
実用数学技能検定(2次:数理技能検定)3級
毛筆書写技能検定3級
毛筆書写技能検定2級
硬筆書写技能検定3級
硬筆書写技能検定2級(書道I)
硬筆書写技能検定2級(生活と書)
硬筆書写技能検定2級(実用の書)
硬筆書写技能検定準2級(生活と書)
硬筆書写技能検定準2級(実用の書)
実用英語技能検定3級
実用英語技能検定2級
実用英語技能検定準2級
実用英語技能検定準1級
TOEIC(470点以上)
TOEFL(450点以上)
全国商業高等学校協会英語検定試験1級
全国商業高等学校協会英語検定試験2級
全国商業高等学校協会英語検定試験3級
学校外学修
全商簿記実務検定3級
全商簿記実務検定2級
全商簿記実務検定1級会計
全商簿記実務検定1級原価計算
全商簿記実務検定1級
北関東簿記実務検定3級
北関東簿記実務検定2級
全商情報処理検定3級
全商情報処理検定2級ビジネス情報部門
全商情報処理検定1級ビジネス情報部門
全商情報処理検定2級プログラミング
全商情報処理検定1級プログラミング
全商珠算・電卓実務検定
3級ビジネス計算部門
全商珠算・電卓実務検定
3級普通計算部門
全商珠算・電卓実務検定3級
全商珠算・電卓実務検定
2級ビジネス計算部門

全商珠算・電卓実務検定
2級普通計算部門
全商珠算・電卓実務検定2級
全商珠算・電卓実務検定
1級ビジネス計算部門
全商珠算・電卓実務検定
1級普通計算部門
全商珠算・電卓実務検定1級(電卓の部)
全経電卓計算能力検定3級
全経電卓計算能力検定2級
全経電卓計算能力検定1級
全経電卓計算能力検定初段
全経電卓計算能力検定2段
全経電卓計算能力検定3段
全経電卓計算能力検定4段
全経電卓計算能力検定5段
全経電卓計算能力検定6段
全商ビジネス文書実務検定3級
全商ビジネス文書実務検定2級
全商ビジネス文書実務検定1級
全商ビジネス文書実務検定1級速度部門
全商ビジネス文書実務検定1級文書部門
全商ビジネス文書実務検定2級速度部門
全商ビジネス文書実務検定2級文書部門
全商ビジネス文書実務検定3級速度部門
全商ビジネス文書実務検定3級文書部門
全商珠算・電卓実務検定1級(そろばん)
全商ビジネス計算実務検定試験1級
全商ビジネス計算実務検定試験2級
全商ビジネス計算実務検定試験3級
全商ビジネス計算実務検定試験1級
普通計算部門
全商ビジネス計算実務検定試験2級
普通計算部門
全商ビジネス計算実務検定試験3級
普通計算部門
全商ビジネス計算実務検定試験1級
ビジネス計算部門
全商ビジネス計算実務検定試験2級
ビジネス計算部門
全商ビジネス計算実務検定試験3級
ビジネス計算部門
日本商工会議所簿記検定試験2級
日本商工会議所簿記検定試験3級
ITパスポート試験
文書デザイン検定1級
文書デザイン検定2級
文書デザイン検定3級
全商情報処理検定2級プログラミング部門
全商情報処理検定1級プログラミング部門

自動車・電機系列

ガス溶接技能講習修了
アーク溶接特別教育修了
フォークリフト運転技能講習修了
玉掛け技能講習修了
クレーンの運転の業務特別教育修了
小型車両系建設機械(3t未満)
高所作業車
乙種1類危険物取扱者免許
乙種2類危険物取扱者免許
乙種3類危険物取扱者免許
乙種4類危険物取扱者免許
乙種5類危険物取扱者免許
乙種6類危険物取扱者免許
第2種電気工事士
認定電気工事従事者認定講習修了
ドローン検定3級
第1級アマチュア無線技士
第2級アマチュア無線技士
第3級アマチュア無線技士
第4級アマチュア無線技士
第2級陸上特殊無線技士
第3級陸上特殊無線技士
基礎製図検定
機械製図検定

商業実務系列

全商簿記実務検定2級
全商簿記実務検定1級会計
全商簿記実務検定1級原価計算
全商簿記実務検定1級
全商情報処理検定2級ビジネス情報部門
全商情報処理検定1級ビジネス情報部門
全商ビジネス文書実務検定2級
全商ビジネス文書実務検定1級
全商ビジネス計算実務検定試験1級
全商情報処理検定1級プログラミング
日本商工会議所簿記検定試験3級
ITパスポート試験

家庭系列

被服製作技術検定3級
食物調理技術検定4級
食物調理技術検定3級
保育技術検定4級(造形表現)
保育技術検定3級(造形表現)
保育技術検定4級(言語表現)
保育技術検定3級(言語表現)
保育技術検定4級(音楽・リズム表現)
保育技術検定3級(音楽・リズム表現)
保育技術検定4級(家庭看護)
保育技術検定3級(家庭看護)

福祉系列

介護職員初任者研修課程修了

探究的な学び

総合的な探究の時間等における探究活動

総合的な探究の時間

【取組】①観光、農業、まちづくり、多文化共生、防犯防災の5つの

テーマで地域の課題についてフィールドワークを実施

②町長及びまちづくり推進課の方々を招いての発表会

③八千代町まちづくりレポート提出

【成果】町主催のまちづくりレポートにおいて優秀賞他4名が受賞

広報八千代2月号(令和6年度) 八千代町公式掲載



観光



農業



まちづくり



多文化共生

各教科における探究的な学び、教科横断的な学びの取組

商業(課題研究)

【取組】町内の企業と連携した街のPR動画作成

企画課やクリエイターの方のご指導のもとPR動画作成

【成果】八千代町公式ホームページ掲載

<https://www.town.ibaraki-yachiyo.lg.jp/page/page010821.html>

広報八千代3月号(令和6年度) 八千代町公式掲載



50
年
の
あ
ゆ
み



創立30周年までの八千代高校について

1976年～2005年



建設中の本校舎(昭和51年)



第1回入学式 八千代一中体育館(昭和51年4月8日)



仮校舎 名崎小学校



本校舎への移転(昭和52年2月17日)

高校教育は地元の高校でという地域の要望に応え、昭和50(1975)年8月に、三和・八千代地区県立普通高校設置期成会が発足しました。その後の県当局への陳情が実を結び、同年10月6日に本校の設置が決定しました。昭和51(1976)年1月には、北総高校開校準備のため3名の職員に辞令が発令され、下妻一高内に開校準備室が設けられました。そして、同年4月1日に茨城県立北総高等学校として開校しました。

当時、校舎はまだ建設途中であったため、入学式は八千代町立八千代第一中学校の体育館を借りて行われました。新入生276名は八千代町立名崎小学校の仮校舎で授業を開始するという苦難のスタートとなりました。入学式の翌日は、仮校舎で職員と生徒が一体となり、清掃や机・椅子・備品の荷ほども等の作業に取り組み、新しい学校づくりに意欲を燃やしました。

八千代町は、茨城県の西南部に位置する人口約2万1,000人の町で、学校は平坦で自然に囲まれた農村地帯の一角にあります。当時は交通の便に恵まれていませんでしたが、現在ではスクールバスも運行されています。しかし、当時の生徒たちは、ほとんどが自転車で通学していました。

昭和52(1977)年の2月には校舎本館が完成し、PTAの協力のもと引っ越しが行われました。同年4月18日には校訓も制定されました。校訓は「自立」「協和」「創造」であり、それぞれ「自分の力で判断し行動すること」、「心を合わせて仲良くすること」、「新しいものを創り出すこと」を意味し、「北総高校」の建学の精神を表しています。この日が創立記念日となりました。

校章は、校舎の立地する地域を象徴しています。学校のある八千代町平塚は、旧下総の国の北部(下総の北＝北総)にあり、古くから「檜(ひのき)」の原生林が広



生徒会誌

がっていました。この「檜」は、夏の酷暑や冬の厳寒にも耐え、常に緑を保ちながらすくすくとまっすぐに成長し、堅い実を結びます。良質の建築材としても広く利用されてきた「檜」のように、本校の生徒たちが強くまっすぐ成長するよう願いを込めました。中央に「檜」の実を配置し、葉で「北」の字を表現しています。

平成6(1994)年4月1日、本校は茨城県立八千代高等学校に校名を変更し、この年の入学生から普通科におけるコース制・総合選択制を導入しました。その後、平成10(1998)年度入学生から総合学科に学科を改編し、茨城県初の総合学科高校として改革に取り組み、魅力ある学校づくりを目指しました。さらに、平成26(2014)年度からは系列の改編を行い、生徒の進路実現をより確かなものにするため、文理総合系列、基礎教養系列、自動車・電機系列、商業実務系列、福祉・家庭系列の5つの系列に再編しました。本校は、個性を磨き、夢を形にできるよう、「挑戦する力」「選択する力」「変化する力」「つながる力」「未来を切り拓く力」の5つの力を育てています。



校名変更記念碑文



開校式(昭和52年10月21日)



植樹祭(昭和53年3月18日)



創立10周年記念式典(昭和60年11月1日)



新生八千代高校の門出(平成6年)

2006

平成18年度



フレッシュマンガイダンス(4月)



入学式(4月)



スポーツフェスティバル(5月)



持久走大会
(12月)



野球応援(7月)



緑風祭(11月)



修学旅行
(2007年1月)

【内外の出来事】

- 6/9 サッカー・ワールドカップ、ドイツ大会開幕
- 8/24 太陽系における「8つの惑星」水星・金星・地球・火星・木星・土星・天王星・海王星の8個とする新定義の可決

2007

平成19年度



フレッシュマンガイダンス(4月)



入学式(4月)



スポーツフェスティバル(6月)



野球応援(7月)



野球応援(7月)



野球応援(7月)



緑風祭(11月)



緑風祭(11月)



持久走大会(12月)



修学旅行
(2018年1～2月)



【内外の出来事】

10/1 郵政事業が民営化され、「日本郵政」が誕生

3/11 日本初の有人施設・日本実験棟「きぼう」打ち上げ成功

2008

平成20年度



フレッシュマンガイダンス(4月)

スポーツフェスティバル
(6月)



入学式(4月)



野球応援(7月)



持久走大会(12月)



緑風祭(11月)



修学旅行(2009年1月)



東京ディズニーランド(●月)

【内外の出来事】

- 4/1 後期高齢者医療制度スタート
- 10/7 南部陽一郎・小林誠・益川敏英氏にノーベル物理学賞
- 10/8 下村脩氏にノーベル化学賞

2009

平成21年度



フレッシュマンガイダンス(4月)



入学式(4月)



スポーツフェスティバル(6月)



野球応援(7月)



緑風祭(11月)



テーブルマナー講習(横浜・12月)



修学旅行
(2010年1月)



持久走大会(12月)



【内外の出来事】

- 5/21 裁判員制度が施行
- 6/25 マイケル・ジャクソン(アーティスト)が急死
- 10/9 オバマ米大統領にノーベル平和賞

2010

平成22年度



フレッシュマンガイダンス
(4月)



入学式(4月)



スポーツフェスティバル(6月)



野球応援(7月)



緑風祭(11月)



持久走大会(12月)



修学旅行(2011年1月)

【内外の出来事】

- 1/1 日本年金機構が発足
- 6/13 小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還
- 10/6 鈴木章・根岸英一、ノーベル化学賞受賞

2011

平成23年度



スポーツフェスティバル(6月)



野球応援(7月)



入学式(4月)



持久走大会(12月)



緑風祭(11月)



修学旅行(2012年1月)

【内外の出来事】

3/11 東日本大震災、三陸沖震源でM9.0

4/29 英国のウィリアム王子とキャサリン妃が挙式

7/18 サッカー女子W杯で「なでしこジャパン」が初の世界一に

2012

平成24年度



フレッシュマンガイダンス(4月)



入学式(4月)



スポーツフェスティバル(6月)



野球応援(7月)



緑風祭(11月)



持久走大会(12月)



修学旅行(2013年1月)



【内外の出来事】

- 2/15 ロシアのチェリャビンスク州に隕石が落下
- 5/22 東京スカイツリー(634m)が開業
- 10/8 山中伸弥、ノーベル生理学・医学賞受賞

2013

平成25年度



入学式(4月)



野球応援(7月)



スポーツ
フェスティバル
(6月)



緑風祭(11月)



持久走大会(12月)



スクールライフ



修学旅行(2014年1月)

【内外の出来事】

3/9 若田光一が日本人初の国際宇宙ステーションの船長に就任

6/22 ユネスコ世界遺産委員会が富士山を世界文化遺産に決定

12/4 ユネスコ無形文化遺産に「和食 日本人の伝統的な食文化」が登録

2014

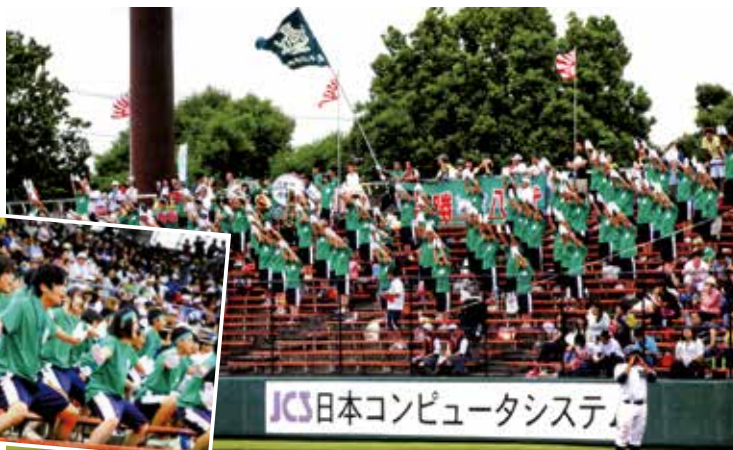
平成26年度



スポーツフェスティバル(6月)



入学式(4月)



野球応援(7月)



スクールライフ



持久走大会(12月)



緑風祭(12月)



修学旅行(2015年1月)



スクールライフ

【内外の出来事】

- 3/14 北陸新幹線開業
- 4/16 韓国の旅客船セウォル号が沈没
- 10/7 ノーベル物理学賞受賞者に赤崎勇・天野浩・中村修二の3人が決定

2015

平成27年度



入学式(4月)



スポーツフェスティバル(6月)



野球応援(7月)



緑風祭(10月)



持久走大会(12月)



修学旅行(2016年1月)



【内外の出来事】

9/10 常総市で鬼怒川の堤防が決壊

10/5 ノーベル生理学・医学賞に大村智、ノーベル物理学賞に梶田隆章

12/31 理化学研究所が113番元素(ニホニウム)の合成および証明に成功

2016

平成28年度



入学式(4月)



野球応援(7月)



スポーツフェスティバル(6月)



持久走大会(12月)



緑風祭(10月)



修学旅行(12月)



スクールライフ

【内外の出来事】

2/26 圏央道が茨城県内全通となる

7/27 アメリカの現職大統領として初めてバラク・オバマ大統領が広島訪問

10/3 ノーベル生理学・医学賞に大隅良典

2017

平成29年度



入学式(4月)



スポーツフェスティバル(6月)



野球応援(7月)



スクールライフ



持久走大会(11月)



緑風祭(10月)



修学旅行(12月)



【内外の出来事】

6/12 上野動物園でパンダ誕生『香香(シャンシャン)』と命名

6/26 14歳棋士、藤井聡太四段が29連勝の新記録

2018

平成30年度



入学式(4月)



野球応援(7月)



スポーツフェスティバル(6月)



持久走大会(11月)



緑風祭(10月)



修学旅行(12月)



スクールライフ

【内外の出来事】

2/9 2018 平昌冬季オリンピック開幕

5/18 15歳棋士、藤井聡太が七段に昇級

6/14 2018 FIFAワールドカップ開幕、日本ベスト16

2019

平成31年度・令和元年度



入学式(4月)



スポーツフェスティバル(6月)



野球応援(7月)



持久走大会(11月)



緑風祭(10月)



修学旅行
(12月)



スクールライフ



【内外の出来事】

- 5/1 なるひと 皇太子徳仁親王殿下、第126代天皇に即位。「令和」に改元
- 9/20 ラグビーワールドカップ日本大会開幕、日本8強
- 10/1 消費税率10%スタート

2020

令和2年度



入学式(4月)



スポーツフェスティバル(10月)



スクールライフ

【内外の出来事】

- 2/1～ 新型コロナウイルス猛威、世界各地に広がる
- 3/14 常磐線、9年ぶり全線再開
- 8/20 藤井聡太七段が最年少で棋聖位、王位の二冠獲得

2021

令和3年度



入学式(4月)



修学旅行(12月)



キャリア宿泊研修(12月)



スクールライフ

学年レクリエーション(12月)



スクールライフ



卒業式(2022年3月)



【内外の出来事】

2/17 新型コロナウイルスのワクチン接種がスタート

7/23 第32回オリンピック競技大会(2020/東京)が日本で開幕

11/18 米大リーグの最優秀賞(MVP)にエンゼルスの大谷翔平が「満票」で選出され初受賞

2022

令和4年度



スポーツフェスティバル(6月)



持久走大会(11月)



修学旅行(12月)



芸術鑑賞会(12月)



緑風祭(12月)



スクールライフ



卒業式(2023年3月)

【内外の出来事】

- 2/24 ロシアが隣国ウクライナに軍事侵攻
- 4/1 改正民法が施行され、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられた
- 9/8 イギリスのエリザベス女王が96歳で死去

2023

令和5年度



スポーツフェスティバル(6月)



野球応援(7月)



持久走大会
(11月)



緑風祭(10月)



スクールライフ



卒業式(2024年3月)



【内外の出来事】

- 3/22 ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で、日本がアメリカに勝ち、14年ぶり3度目の優勝を果たす
- 5/5 新型コロナ緊急事態宣言終了を発表
- 10/11 将棋の藤井聡太が、将棋界初となる8大タイトルを完全制覇

2024

令和6年度



スポーツフェスティバル(6月)



野球応援(7月)



緑風祭(10月)



持久走大会
(11月)



スクールライフ



卒業式(2025年3月)



【内外の出来事】

- 1/1 石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生
- 9/19 米大リーグ・ドジャースの大谷翔平がメジャー史上初の「50本塁打、50盗塁」を達成
- 10/11 ノーベル平和賞を「日本原水爆被害者団体協議会(被団協)」が授与

2025

令和7年度



入学式(4月)



スポーツフェスティバル(6月)



野球応援
(7月)



スクールライフ



スクールライフ



【内外の出来事】

- 1/22 アメリカ野球殿堂はイチローを今年の殿堂入りメンバーと発表。日本選手初
- 3/24 マイナンバーカードと運転免許証の一体化が開始
- 4/13 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)が開幕

総合的な探究→課題研究

- 1年次(総合的な探究の時間)…八千代高校をよりよくするために活動
- 2年次(総合的な探究の時間)…八千代町について意見を出して町のこれからについて提案
- 3年次(課題研究)…高校生視点で八千代町のPR動画を作成

3年次商業実務系列 3グループに分かれ、高校生の視点から町のPR動画を作成。

八千代町の特産品である白菜に着目し、3分クッキング風の動画を制作。動画の冒頭と最後には、八千代町のマスコットキャラクター「八菜丸君」と男子生徒がダンスをするシーンを挿入し、視聴者の興味を引きつけるユニークな演出を加えた。軽快なダンスが動画全体の雰囲気明るくし、親しみやすい印象を持たせる工夫がされているPR動画となった。

また、八千代町に本社を構える「ヤマダイ株式会社」とのコラボ企画の班は、アレンジレシピ対決を実施。カップラーメンを使ったアイデア料理を作成。審査員を設けて点数をつけることで、エンターテインメント性を高め、さらに料理を通じて地元企業とのつながり、地域の魅力をさらに深く伝える構成となったPR動画となった。

さらに、ホラー映画のワンシーン風に仕上げた動画では、視聴者の興味を引き込む工夫がされており、町職員から「引き込まれる内容」との評価を受けた。演出にこだわり、従来のPR動画とは一味違った仕上がりになった。ホラー映画風の表現を活用することで、視聴者の記憶に残る、強いインパクトを与えた。

このように、各班が創意工夫を凝らし、PR動画を制作。八千代町の魅力を広く発信する貴重な機会になった。ユニークな試みが、今後のさらなる地域・学校の発展につながることを期待する。



動画作成のレクチャー (株)アシア・メディアプロモーション 渡辺氏



ヤマダイ株式会社との打ち合わせ



課題研究発表会の様子



課題研究発表会好評 (町職員・(株)はなまるBASE)

【編集後記】

創立50周年記念事業の一環として発刊した本記念誌は、30周年記念式典が挙行された平成17年度以降の20年間を振り返るとともに、茨城県立八千代高等学校の現在を伝えることを主眼として編集されました。

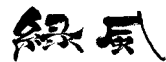
校名変更、普通科から総合学科への移行を含めた「改革」の時代からの情熱を引き継ぎ、「熟成」の時代への橋渡しとして歩んだ20年なのではないかと思います。生徒・保護者・地域に支えられ、その情熱が少しずつ実を結びつつあり、今後も更なる情熱を持って生徒・保護者・地域に期待され、信頼される学校になれるよう努力を重ねていきたいと思っています。

仕上がりに関しましては、何かとご不満な点があることとは思いますが、この記念誌が八千代高校の新たな一歩への力になればと願っております。

最後に、記念誌編集にあたり寄稿してくださった方々、本誌発行にご協力いただいた方々に心よりお礼申し上げます。

題字 大久保 美羽

創立50周年記念誌



発行日 令和7年11月15日
発行者 茨城県立八千代高等学校
〒300-3561 茨城県結城郡八千代町平塚4824番地2
TEL 0296-48-1836
FAX 0296-48-3201
制 作 株式会社 白い雲パブリケーションズ

創立50周年記念誌

緑風



茨城県立八千代高等学校